

第6学年 外国語活動指導案

単元名：What time do you get up? 一日の生活を紹介します

1. 指導観

子どもたちはこれまでに、Hi, friends! のデジタル教材を使って各単元に設定してある Chant で、リズムに乗りながら、調子よく英語の発声をする活動や Let's Play、Activity では、英語表現を使って、友達とゲームを楽しんだり、友達や先生、ALT とコミュニケーションをとる活動をしてきた。5年生の時から、指導を受けている ALT の先生とも恥ずかしがることもなく交流することができ、ALT が来る日を毎回、楽しみにしている。これまでの学習の中で、6年生「アルファベットクイズをしよう」で、100 までの数の言い方を学習し、ものの数を尋ね、それに英語で答える体験をしてきた。また、「できることを紹介しよう」の活動において、いろいろな行動を表す表現を使って、ジェスチャーをつけながら自分のできることをボールなどの道具を用いて Show and Tell で紹介する体験もしてきた。夏休み中に開催されたロンドンオリンピックを TV で視聴していた児童も多く、その時の経験から、時差についても気付いている児童が多いと思われる。2学期には、「友だちを旅行にさそおう」の単元で、Let's Listen の教材ビデオを見て、世界には様々な人たちが様々な生活をしていることに興味を持ち、世界の様子や、人々の暮らしについてもっと知りたいという気持ちを抱いている。

そこで、本単元では、いろいろな行動の中でも生活を表す表現を取り扱い、既習の数字を表す表現を時刻につなげ、まず、チャンツやゲームで動作や時刻について尋ねたり、言ったりする表現に慣れ親しませる。次に、生活を表す表現を使って、自分の一日の生活を友達に紹介したり、友達や先生の一日を聞き取ったりする活動を通してコミュニケーションを図る楽しさを体験させたい。さらには、自分の生活時刻と海外のいろいろな都市の時刻をつなげて、世界には、時差があること、世界中がグローバルにつながっていること、その中で、相手の国の事情や生活の様子なども考えさせながら、世界の国々に対する興味関心を深めさせていきたい。

2. 単元の目標

- 積極的に自分の一日を紹介したり、友達の日を聞き取ったりしようとする。
- 生活を表す表現や、一日の生活についての時刻を尋ねる表現に慣れ親しむ。
- 世界には時差があることに気づき、世界の様子に興味を持つ。

3. 単元の構成

時	ねらい	コ	慣	気	活動/*評価規準(評価方法)	扱う表現
単元名： What time do you get up? 一日の生活を紹介します						
1	動作や時刻の言い方を知ろう。			◎	○ナンバーゲームをする。【Let's play1】 ○「何時でしょう。」 ○「時計に針や数字を書こう。」 【Let's listen1】 ○ジェスチャーゲームをする。 ○ポインティングゲームをする。 【Let's play2】 ○チャンツ 【Let's chant】 *生活を表す表現や時刻の尋ね方、答え方を知る。	one～sixty What time is it? It's ~. I get up. I go to school. I go to bed. What time do you get up? I get up at 7:00.
	○動作や時刻の言い方を知る。					

2	友達や先生の一日をインタビューしよう。			<p>○ナンバーゲームをする。【Let's play1】</p> <p>○チャンツ 【Let's chant】</p> <p>○ポインティングゲームをする。 【Let's play2】</p> <p>○さくらの生活時刻 【Let's listen2】</p> <p>○生活時刻インタビュー 【Activity1】</p> <p>*動作や時刻を聞いている。</p> <p>*生活時刻を尋ねたり、言ったりしている。 (行動観察、誌面点検)</p>	<p>one~sixty What time do you ~? I ~ at *:00. I study at school. I play basketball. I swim. I play the piano. I play soccer. I go home.</p>
	○友達や先生に起床、登校、就寝の時刻を尋ねたり、答えたりする。		◎		
3	友達に自分の生活時刻を紹介しよう。			<p>○ナンバーゲームをする。【Let's play1】</p> <p>○チャンツ 【Let's chant】</p> <p>○おはじきゲームをする。【Let's play2】</p> <p>○生活時刻を紹介しよう 【Activity2】</p> <p>*いろいろな友達と積極的に交流している。</p> <p>*簡単な英語表現を使い、ジェスチャーを使ったりしながら、友だちに自分の生活時刻を紹介している。 (行動観察、ワークシート点検)</p>	<p>one~sixty What time do you ~? I ~ at *:00. I eat dinner. I eat breakfast. I eat lunch. I take a bath. I study at home. I watch TV.</p>
	○友だちに自分の生活時刻を紹介する。	◎			
4	世界の時刻を知ろう。			<p>○ナンバーゲームをする。【Let's play1】</p> <p>○チャンツ 【Let's chant】</p> <p>○チェンゲームをする。</p> <p>○世界の時刻を地図上の□に書く。 【Let's listen3】</p> <p>○世界の都市と絵を線で結ぶ。</p> <p>*生活を表す表現や時刻を聞いている。</p> <p>*世界には時差があることや、世界はつながっていることに気付いている。 (行動観察、誌面点検)</p>	<p>one~sixty What time is it in Tokyo, Japan? It's eight. I go to school at eight. Sydney, Australia Beijing, China Moscow, Russia London,UK Sao Paulo, Brazil New York, America Vancouver, Canada</p>
	○世界には時差があることに気づき、世界の様子に興味を持つ。		◎		
5	自分の一日と外国の時刻をつなげよう。			<p>○ナンバーゲームをする。【Let's play1】</p> <p>○チャンツ 【Let's chant】</p> <p>○自分の一日と世界の都市の時刻をつなぐ。(ワークシート)</p> <p>○生活表を紹介しよう。 【Activity2】</p> <p>*相手に伝わるように工夫して自分の一日を紹介している。 (行動観察、ワークシート点検)</p>	<p>one~sixty What time do you ~? I ~ at *:00. What time is it in ~? It's~. I ~at ~.</p>
	○自分の一日と自分が選んだ海外の都市をつないで紹介する。	◎			

4. 本時 (2/5)

5. 本時の目標


- 動作や時刻について尋ねたり言ったりする表現に慣れ親しむ。

6. 本時指導の考え方

本時は、動作や時刻についてチャンツ、ゲーム、インタビューといった様々な活動を通して、簡単な英語表現を使って、尋ねたり言ったりすることに慣れることをねらいとする。これまでに児童は、第一時の「何時でしょう。」の学習やジェスチャーゲームなどで動作や時刻の言い方について学習してきた。

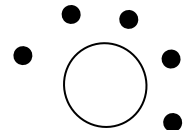
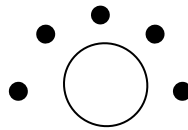
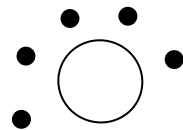
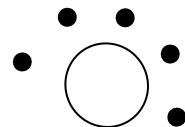
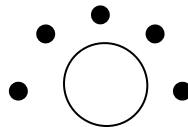
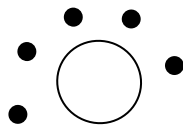
本時では、ウォームアップの後、チャンツ、ポインティングゲーム、リスニングなどデジタル教材を使って、基本になる英語表現を繰り返し声に出して言うことで動作や時刻について尋ねたり、言ったりすることに慣れ親しませる。全体で言ったり、2グループ、生活グループ、ペアなど組み合わせをいろいろ変えて活動に変化を持たせ、児童が飽きずに楽しく取り組めるようにする。そして、インタビューでは、ALTはじめいろいろな国の人をビデオで登場させ、次時以降の世界の国の時刻につなげるようにする。

7. 本時展開案

時間	児童の活動	担任	外国語活動指導者	・教材*評価場面
(分) 1	あいさつをする ・ Hello.○○sensei ・ I'm fine thank you. And you?	・ Let's say Hello to ○○sensei. Today's readers, please.	・ Hello, everyone. How are you? ・ I'm fine thank you. ・ What day is today? ・ How is the weather? ・ Let's play1, from 1 to 60.	 ・ Hi fr...
4	ウォームアップ ・ ナンバーゲームする。	・ スタートの児童を指名する。		
1	めあての確認	・ Today's aim is .		・ デジタル教材 ・ 巻末児童用絵カード <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> *評価規準 【慣】声に出して言い、動作や時刻の言い方に慣れ親しんでいる。 (行動観察・点検) </div>
5	Let's Chant ・ デジタル教材のリズムに合わせて調子よく言う。 What time do you get up? I get up at 7. What time do you go to school? I go to school at 8. What time bed? I go to bed at 9.	・ Good! Nice! などの言葉で調子に乗らせる。 ・ 児童と一緒に声出しをする。	・ Let's chant. ・ 1,2 などのかけ声をかけ、出だしをサポートする。	
5	Let's play2 ・ ポインティングゲームをする。	・ 行動観察をする。 ・ ゲームの進め方で困っている児童に支援をする。	・ Let's play pointing game. ・ ゲームの進め方を確認する。	
5	Let's listen2 ・ さくらの生活時刻を聞き取る。		・ Let's listen 2, Listen carefully.	

23	Activity1 ・友達や先生の一日を予想して、インタビューする。 What time do you get up? What time do you go to school? What time do you go to bed?	・児童のインタビューに答える。 ・インタビューする児童または、グループを指名する。 ・行動観察をする。	・インタビューする児童の支援をする。 ・時間があれば、児童にも、答えさせる。 ・今回の活動についてコメントし、子どもたちの頑張りについて、励ましの声かけをする。	・マイケル先生などのビデオ ・Hi friends!2 ・デジタル教材 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>*評価規準 【慣】 答えの予想を立て、友達や先生の一日を興味深く聞いている。 (行動観察・誌面点検)</p> </div>
1	あいさつをする ・ Thank you, ○○ sensei . See you next time.	・ That's all for today. Today's readers, please.	・ Good bye. See you next time.	

場の設定



ホワイトボード

電子黒板